



1. 背景と目的

群馬森林管理署管内でも、シカによる被害面積の拡大が顕著であり、防除柵や忌避剤等の被害対策とともに、**有害獣類捕獲として職員実行による直営捕獲や業務委託での捕獲(許可捕獲)**を進めています。

くくりわなによる捕獲では、小林式誘引捕獲によることとしていますが、**捕獲対象とするシカ以外の獣類(特にクマ)も誘引してしまう**というデメリットがあります(本年度は直営1頭、委託3頭の**錯誤捕獲**)。

クマを**錯誤捕獲**すると、見回りに来た捕獲従事者や入林者が、暴れてわなから外れたクマからの**攻撃で危害を受ける可能性**があります。さらに**錯誤捕獲されたクマが幼齢である場合には、周囲に隠れて様子を見ている母クマとの遭遇により攻撃を受ける危険性**もあります。

また、**錯誤捕獲したクマに対しては、行政上の捕獲許可がなく「違法状態」となり、許可者(市町村長)による処置の判断と関連する手続きに時間を要し、業務上多大な負担となるため、**錯誤捕獲を極力回避する方策の実用化が喫緊の課題**となっています。**

こうしたことから、国有林野事業が森林被害対策として進めるシカの許可捕獲の趣旨に則り、**シカのみを誘引して高確率に捕獲する方策を探ることを目的**とします。



小林式誘引捕獲



直営捕獲したシカ



直営捕獲で**錯誤捕獲したクマ**

2. プロジェクトスコープとスケジュール

・使用資材 ※・・・**従来から使用**

誘引資材	わな資材
<ul style="list-style-type: none"> ・ハイキューブ ※ (アルファハイをキューブ状に圧縮成形した粗飼料) ・鈹塩 ※ (塩分やミネラル、糖みつなどを混ぜて固形ブロック状のもの) ・ユクル (鉄分とミネラルを固形化したもの。シカ専用誘引資材) ・くず鉄 (「シカは鉄分搾取するため鉄道へ侵入し、列車と衝突する」という事例から着想を得た錆びた鉄を再利用) 	<ul style="list-style-type: none"> ・くくりわな ※ (群馬森林管理署では、オリモ式くくりわなを使用) ・ペアウォーク (クマが踏む抜きにくい、くくりわな) ・こじゃんと (上部が開放されている囲いわな) ・セルフロックスタンション (角のないメスのシカが選択的に捕獲できるわな)

・スケジュール



「こじゃんと」
出典：四国森林管理局HP



「ペアウォーク」



「セルフロックスタンション」

3. まとめ

今後は、上記で得られた手法の利点を効果的に組み合わせ、**錯誤捕獲を極力発生させないシカ捕獲**を目標に取り組みます。

さらにシカの繁殖による**個体数増加を抑制**するため、**×ス個体をターゲット**とするために**有効なわなや誘引を含む捕獲方法の構築**を目指し、継続して検証します。